



鴨居中だより

郵便番号 239-0813 横須賀市鴨居 3-2-2
Tel (046) 841-0442 Fax (046) 841-0556
E-mail : admini@kamoi-j.yknet.ed.jp

【令和5年度 学校教育目標】
自分をみがき 自分を生かす
【自立】【共生】【貢献】
発行者 校長 星野洋司



『鴨居中のわくわくが 止まりません!』

今年度から学校だよりを通じて鴨居中の「わくわくする出来事」を紹介していますが、ここに来て新たな発見が多くあるため、今回は「特集号」として、いくつか紹介させていただきます。少し時間をいただき読んでもらいたと思います。(担任の先生方、よろしくお願いします。)

【鴨居中 小さなわくわく NO.9】

全校生徒のために「最高の準備をしましたが！」

雨の日の鴨居中は、敷地内に「多くの水溜まり」が発生し、靴がビショビショになってしまうことがあります。特にC棟側正門を入ってすぐの場所には「大きく深い水溜まり」があり、たくさんの生徒が被害にあっています。そのため、小俣先生にカラーコーンを用意していただき、今は避けて通るようにしています。しかし、その一箇所だけではいいため、昇降口までたどり着くのが大変になっています。

そこで、「安心なルートを確保するため」写真のように人工芝を設置しました。この作業を事務員さんとしていたところ、下校中に通りかかった「3年1組：鈴木芽芽さん」「3年2組：渡邊風弥さん」「3年4組：原 啓人さん」が声をかけてくれ、一緒に手伝ってくれました。細切れの人工芝をパズルのように考えながら組み合わせ、写真のように綺麗に敷き詰めることができました。3人のお陰で雨の日も少しは安心して、校舎までたどり着くことができるようになったと思います。「ぜひみなさん、この人工芝を活用してみてください。」

私が4月からずっとモヤモヤとしていたものが、やっとスッキリ解消しました。「ありがとうございました。」
<PS>しかし、この作業は6月中旬に行ったのですが、それから「水が溜まるような雨が一度も降っていません。(そろそろ梅雨も明けそうです)」雨の日の対策として考えたのですが、「雨を降らさないための『おまじない』」のようですね。」と笑いながら3年生と話しています。



【鴨居中 小さなわくわく NO.10】 地域での出来事! 「登校時編」

先日、鴨居小学校と小原台小学校の校長先生とお話をする機会がありました。今年度は私を含め3校とも校長先生が新しく着任したので、それぞれの学校の児童・生徒の様子について話を聴きました。その中で

鴨居小学校の森校長先生からは、「鴨居中は挨拶をしっかりとってくれる生徒が多く気持ち良いです。その中でも「行って来ます。」と毎朝言ってくれる生徒がいます。目を見て元気にあいさつしてくれると、私も嬉しくなり「笑顔」をもらっています。」と話してくれました。

小原台小学校の金子校長先生からは、「朝の登校時に女子中学生が小学生の手を引き、横断歩道を一緒に渡っていました。その際、止まってくれた車に会釈をして、お礼を伝えていました。そして渡った後、小学生に手を振り中学校の方向へ歩いていきました。(兄弟ではなさそうでした。)」その光景を見たとき、『なんて優しい中学生がいるのだらう』と思い、嬉しい気持ちになりました。と話してくれました。

このように、校外でも心温まる・素晴らしい行動ができる生徒がいることを嬉しく感じています。これからも「わくわく」する活躍を楽しみにしています。(地域でも小さな出来事に対して、注目されています。)



【鴨居中 小さな わくわく NO.11】 地域での出来事！「ファインプレー編🎯」

先日、学校に地域の方が「傘」と「お礼の手紙」を持って来校されました。話を聴くと「先日の雨の日に、通りかかった中学生が傘を貸してくれたので、とても助かりました。」と、お礼と感謝を伝えに来たそうです。手紙の中には「榎本さん」と名前が書かれていたので、確認したところ「3年4組：榎本壮馬さん」でした。

榎本さんから詳しく話を聴くと、急に雨が強く降ってきたときに、傘を差さずに濡れながら歩いていたので「この傘を使ってください」と声をかけ渡したそうです。(自分はその後、友達傘に入れてもらい帰宅したそうです。) とても機転のきいた『最高のファインプレー』だと感じました。

このように、とっさの判断で声をかけることができたことは、とても素晴らしい行動だと思います。まして1本しかもっていない傘なので、もし私だったら「貸すことができたか」と、考えてしまいます。今回の榎本さんの勇気ある『最高のファインプレー』に、大きな拍手を送りたいと思います。



【鴨居中 小さな わくわく NO.12】 地域での出来事！「公園ゴミ拾い編🎯」

土曜日の朝、野球部1年の「長島汰虎さん」と「佐藤海空さん」の2人が、部活動で登校する際、鴨居公園のゴミを拾ってくれた話を聴きました。その様子を2人に聴くと、「公園にゴミがたくさん散乱していたので、少し時間もあったから2人で拾ってくれたそうです。」先日は、篠原先生から全校生徒に「地域の方から公園の使い方やゴミの放置」など、地域での生活について考えて欲しいと話があったばかりでした。

実際のゴミの種類を聴いて見ると「空き缶・ペットボトル・お菓子の袋・たばこの吸い殻」があったそうです。この様子から「小・中学生が」と言うわけではありませんが、今後鴨居中生も、いろいろな公園や施設等を利用する機会も多くあるはずで、(夏休みも含め)その際には「場所ごとのルールのもと、自分で責任を持って使用してください。」そしていつまでも、地域の1人として鴨居の町をきれいに・大切にしながら続けて欲しいと思います。今回の長島さんと佐藤さんには、「地域の環境美化」に多大な貢献をしてくれたことに感謝します。ありがとうございました。

しかし本当は、「ゴミ拾い」を大切にするのはなく

『自分の責任で、環境を作ることができる人・町づくりを！』考えませんか！

<PS> 「校内では、どうですか？」

今回の話は、鴨居中でも生徒会(委員会)がすでに同じようなことを取り組んでいます。それは「保健美化委員会」が3日間実施している『美化点検』です。

この取り組みの目的・ねらいは

**【美化点検目的】各クラスが強化週間をきっかけに、日頃から清掃に意識できるようにする。
※強化週間が終わっても続くように！**

と、「常に環境に対する意識を強化する」ための取り組みです。点検結果の善し悪し(点数)だけを確認・評価することが最終目的ではなく、日常の掃除だけでなく、常に「自分のゴミはゴミ箱へ」「気がついたら綺麗にする」など、『当たり前なことを大切にする・当たり前気づいてもらう』ための取り組みです。

これも『大人社会で通用するためのポイントの1つです。』

汚れた環境では「心もがさつき」ます。きれいな環境は、「心も美しく・明るく育ち」ます。自分達の力で、そんな『感性』を育てることができる鴨居中にしたいと思っています。

